

# 日本共産党

## 出浦正夫議員の

### 3月議会報告

3月定例議会が3月7日から10日の日程で開催されました。議会では一般質問を5名が行いました。町長提出案件では、一般会計補正予算、条例の新設・一部改正、新年度予算などが審議されました。

町長提出議案についてはすべての議案が可決されました。

日本共産党の出浦正夫町議は、8日に一般質問を行いました。概要を報告します。

## 一般質問要約

質問前の一言で出浦議員は次の3点を述べました。

\*3月8日は、「国際女性デー」議員席、執行部席ともに女性がいらないのは異常な姿を示していること。

\*2月24日でウクライナ侵略1周年、3月6日は、伊豆沢爆撃のあった日、10日は東京大空襲の日、戦争の悲惨さを忘れない。岸田政権の下での大軍拡で戦争に巻き込まれる危険が迫っていること。

\*12月議会での質問に基づき2月16日、副町長・担当課長・担当職員で練馬の広徳寺に赴き、敷地、建物、山林の無償譲渡に向け協議されたことへのお礼並びにいっそうの努力をして頂きたいこと。

## 1、「株式会社地域商社

## おがの」会社乗っ取られ

## 事件について

この問題、町の名譽・危機管理に関する重要問題なので5名の質問者中4名が取り上げ、出浦議員も質問しました。

「株式会社地域商社おがの」は小鹿野町が全額出資して設立した会社。本店は小鹿野町役場内、代表取締役は、町長である森真太郎氏。会社設立の目的は、商社ですから営業と名のつくあらゆることになっています。

会社の成立は令和3年6月28日。

## 中野某、会社乗っ取り登記

令和4年6月1日、代表取締役 森真太郎氏辞任したことに、同日、中野某代表取締役就任を7月26日付けで登記。こうして「株式会社地域商社おがの」は、中野某に乗っ取られた。

この事実を町が知ったのは令和4年9月5日、この登記事務にかかわった司法書士事務所から登記完了の通知が役場に届いたからという。

## 408名の中から最適任者

## として選考、地域プロジェクト

## クトマネジャーとして採用

この中野という男、社長候補として募集に応じた408名の中から最適任者として令和4年3月1日に採用された。中野本人の説明・履歴書によると埼玉大学教養学部卒、大手旅行会社傘下の商社で勤務、その後コンサルタント業で企業・団体の創立支援に携わってきたとしている。

同僚議員から採用にあたって前歴調査はしたのかとの質問がありました。調査はしていないとの答弁がありました。

出浦議員から大学卒業証明書の提出を求めたかとの質問には、証明書提出は求めなかったと答弁。(埼玉大学の場合200円で証明書は発行されます。)

この男には月額41万2000円の給与が支払われてきました。本人のいうこと、履歴書を信用した結果がこの始末ですから今後の教訓にするべきです。

またインターネット公募の弱点、問題点を浮き彫りになった形です。

乗っ取りの手口、言葉巧みに会社印を借り出し、登記必要文書を偽造

中野は、「株式会社地域商社おがの」の将来にとって重要な案件があり会社印が必要と言葉巧みに説明、副町長が管理していた会社印を借り出し、3時間後に返却したとのこと。

この間にあらかじめ用意してあった代表取締役交代に関する臨時株主総会議事録、中野が代表取締役に就任したとする「就任承諾書」、森真太郎氏が代表取締役を辞任したとする「辞任届」ほかの文書を会社印も使って偽造、令和4年7月26日付けで登記を完了した。

## 町、9月13日、私文書偽

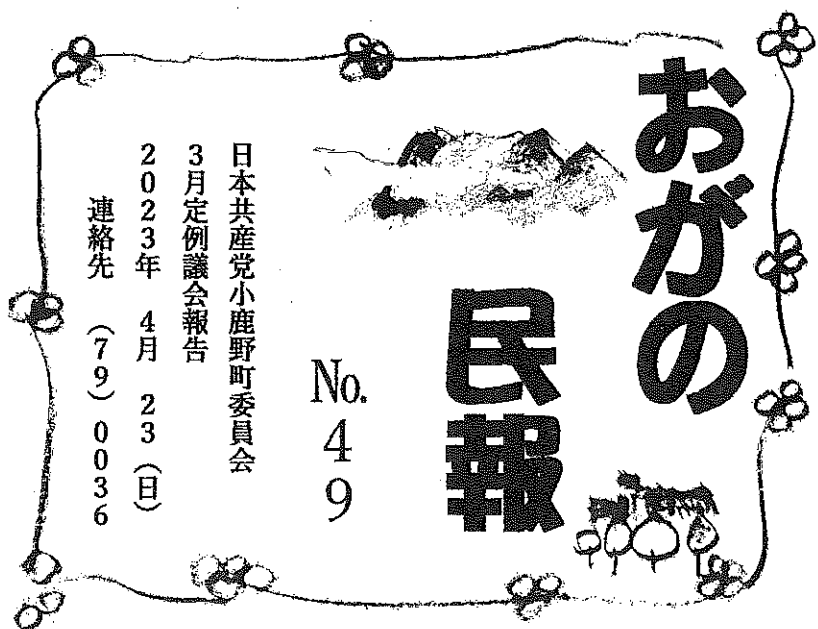
## 造罪で刑事告発、

## 12月13日、懲戒免職処

## 分を発表

町は、9月13日、私文書偽造罪で中野某を刑事告発。

12月13日付けで懲戒免職処分となりましたが、問題発覚後も給与、ボナスまで支払われており問題を残しました。(裏へ続く)



おがの民報

No. 49

日本共産党小鹿野町委員会  
3月定例議会報告  
2023年 4月 23日(日)  
連絡先 (79) 0036



# 「株式会社地域商社おがの」

## 登記簿上は抹消登記によ

### り元に回復

登記簿上はどうなったか。中野某、事の重大性に気づいたか町長に謝罪したいとして、偽造した文書は、思い違いによるものだった、株主総会が開かれたと思っただのは実は思い違いで開かれていなかったとする文書を作成、錯誤による抹消登記がされました。この登記により、代表取締役は森真太郎氏に回復しました。

登記完了は令和4年12月27日でした。

回復したとはいえ、会社の履歴には残るので大きな問題です。

会社印の管理、町の危機管理を含めて今後の教訓とする必要があります。

## 町長、副町長責任をとり

### 給与減額

前号でもお知らせしましたが町長・副町長は給与を2月・3月・4月にわたる3か月間減額しました。減額は、町長20%月額13万円、副町長10%月額5万6000円です。



2015年には通信制高校教育特区の国庫補助金詐欺事件に町が巻き込まれそうになった経験もあり、人の採用や新たな政策決定には多面的慎重な検討が求められます。



## 2.

### 二子山のキバナコウリ

#### ンカ、ウチヨウラン等絶

#### 滅危惧植物の保護・保

#### 全を求める

二子山に自生している絶滅危惧植物の保護保全について質問しました。近年、クライミング団体によるコーヌ開拓や登山道整備等により希少植物が激減しているとの指摘が植物研究者や登山団体からあります。

担当課では、二子山には希少植物が自生していることは承知しているとしたうえで、希少野生動植物の種の保護を図り、地域の共有財産として次世代に継承して行けるよう、埼玉県と連携して啓発活動を進めると答弁しました。

### 山岳遭難防止、両神山清滝小

#### 屋の再開に向けた取り組みを

#### ひきつづきとしました。

清滝小屋再開に向け、令和5年度にモノレール等の設置の調査実施、令和6年度に工事ができるよう計画しているとのことでした。

登山者の安全のため1日も早い再開が望まれます。

## 3.

### 小学校統合に備え保護

#### 者の負担軽減に向けた

#### 条件整備を行うよう質

#### 問しました



教育委員会では、統合に向けた話し合いは始まったばかりなので、今後の

協議の進捗を見守り、町の支援がどこにどの様に必要なのか等検討し教育環境のさらなる充実に努めていくとしました。

保護者の皆さん、児童の皆さんが積極的に願いや思いをお寄せいただくことが統合に向けて大切だと感じました。

## 4.

### 両神庁舎に職員を配置

#### し柔軟で多面的仕事を



新庁舎完成、移転に伴い両神庁舎に職員を配置し証明書発行業務だけでなく多面的、各種相談などにも対応できるような柔軟な運営をしてほしいと要望しました。

その結果、3名の職員の方が勤務されています。経験豊富な皆さんですのでどんな相談等にもアドバイスを頂けると思います。



### 新年度予算から

#### 東電4組合テレビ共聴組

#### 合への東電柱共架量補助

#### を新設

令和5年度予算に東電4組合の東電柱共架料補助が初めて盛り込まれました。予算額は258万円。組合員・役員さんが何度も町に要望し実情を訴えた結果です。何年にもわたり調査検討された総合政策課の皆さんには、感謝・感謝ですとの声が聞かれます。

出浦議員も何度も質問してきたがほんとに良かった。ここまで来るのに10年かかったと話していました。